

第9回勉強会（要旨）

「新型インフルエンザの危機管理 ～情報発信の立場から」

2009年9月10日、東大山上会館で、神戸市福祉保健局長の桜井誠一氏を講師に招いての勉強会が開催された。自然災害以外での勉強会は初めてだが、会員の関心は高く37人が参加した。

桜井氏は、阪神大震災の時に広報課長だったことから「事件おこし」と自己紹介したあと、5月15日の高校生初感染、28日の「ひとまず安心宣言」と時系列で話を進めたが、最も興味深かったのは「震災と新型」の比較だった。

いわく「落ち着いて助け合った震災 vs マスクが売り切れ相談が殺到した新型」「ボランティアが来た震災 vs 神戸というだけで嫌がられた新型」「体力勝負の震災 vs 頭を使った新型」・・そして発熱外来を例に「日常使っていないものは緊急時に使えない」と震災の教訓を繰り返す一方、「自分ひとりで情報収集・分析したが、情報将校を立て組織的にやるべきだった」と反省、秋以降に向け貴重な提言を頂いた。（ニューズレター39号）

